

積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和3年6月16日 No. 14 文責：佐野紳二

雨の日が増えてきました しっとりと落ち着いた生活を

今週の天気予報を見ると、くもりや雨の予報が多くなっています。14日には例年よりも3日ほど遅れて山梨県にも梅雨入りが宣言されました。外遊びが大好きな子どもたちにとっては、雨は歓迎すべきものではないようですが、この時期に成長する多くの作物にとっては、まさに「恵みの雨」でしょう。学校でも各学年が4～5月にかけて種を蒔いたり苗を植えたりした植物が、だんだん大きくなってきています。植物ばかりではなく、蛙や蝸牛🐌など、雨や湿気を好む生き物も見られるようになってきました。時にはそんな植物や動物に思いを馳せながら、心静かに過ごすのもいいかなあ…なんて思います。

また、日本語には梅雨以外にも、この時期の雨を表す言葉がたくさんあるようです。

梅雨：霪雨（ばいう）とも書く。霪は「かび」の意味

五月雨（さみだれ）：陰暦5月ごろに降る長雨

黄梅の雨（こうばいのあめ）：梅の実が黄色く熟するころに降る雨

麦雨（ばくう）：麦が熟するころ降る雨

卯の花腐し（うのはなくたし）：卯の花の咲いているころに降りつづく長雨



梅雨に関わる言葉を見つけてみると、更にたくさんです。

走り梅雨、入梅、送り梅雨、出梅、空梅雨（からつゆ）、早梅雨（ひでりつゆ）、枯れ梅雨、照り梅雨、戻り梅雨、返り梅雨、残り梅雨、男梅雨、女梅雨、陽性梅雨、陰性梅雨 etc…

日本語の豊かさを感じます。私たちも、こんなふうには季節のわずかな移り変わりにも心を寄せ、表現できる感性を身に付けていけるといいですね。



上段：アサガオ、サツマイモ（1年生） ミニトマト、キュウリ（2年生）
下段：ハウセンカなど（3年生） ヘチマ（4年生） インゲン・稲（5年生）

北小の野菜や花
順調に育っています

水曜日の朝は「あやめっ子タイム」 檜形中学校区小中一貫教育の取組の一つです



ホームページの「学校のひろば」では何度か紹介させていただいていますが、本校では毎週水曜日の北小タイム（朝活動の時間）を「あやめっ子タイム」の取組の時間にしています。

あやめっ子タイムの活動は、名城大学の曾山和彦教授が提唱する「スリンプル・プログラム」に沿って行われています。（スリンプル＝スリム&シンプルという意味です）今年、これまでに子どもたちがやったのは「質問ジャンケン」で、じゃんけんで勝った人が負けた人に「誕生日はいつですか」「好きな色は何色ですか」という質問をしていきます。それをきっかけとして子どもたちが相互に対話を進めていく中で、子どもたちのコミュニケーション能力と自尊感情の向上を狙っています。

こんな風を書くとともに堅苦しく感じてしまいますが（私の文章の悪いところですが）、子どもたちにとっては「友だちとの会話を楽しむ時間」となっており、その経験を意図的に仕組んでいるところがミソ、という感じですが。「質問ジャンケン」の他にも「どちらを選ぶ」や「アドジャン」など、楽しいプログラムが今後、行われていきます。やり方自体はとても簡単なので、ぜひ子どもにやり方を聞いて、おうちでも親子でやってみてください。

第3回避難訓練 自分の命を自分で守る

火曜日の2校時に、本年度3回目の避難訓練を実施しました。今回は火災が起こった場合を想定して、各教室からどのように避難するかを確認しました。

それぞれの教室からの避難経路は避難経路図に示されていますが、火災が発生した場所によっては、避難経路図の通りに避難できるとは限りません。また必ず教室にいても限りません。どのような場合でも、自分の安全を確保しながら、安全な場所に避難できることがとても大切です。今後もさまざまな事態を想定した避難訓練を実施し、子どもたちの危機回避能力の向上を図っていきたいと思います。



校舎西側のヒマラヤスギを伐採します 6月19日（土）に実施します

長年、檜形北小を見守り続けてくれた校舎西側のヒマラヤスギですが、近年、樹木の成長に伴い、根本のアスファルトには亀裂が入り、台風等の影響により倒壊の恐れがあるという指摘がありました。校舎側に倒れた場合にも道路側に倒れた場合にも、児童の安全確保に支障があることから、この度、伐採をすることになりました。作業は6月19日（土）の朝から行われ、この日、玄関付近は伐採作業のため、通り抜けができなくなります。（雨天の場合は延期します）学校に来られる方は、南側正門または体育館側入口からお入りください。

